AIを「内部コンサルタント」に。

少人数ベンチャーが実現した、PM工数40-50%削減の playbook

Presented by bloom株式会社 AIX事業部
[Date]

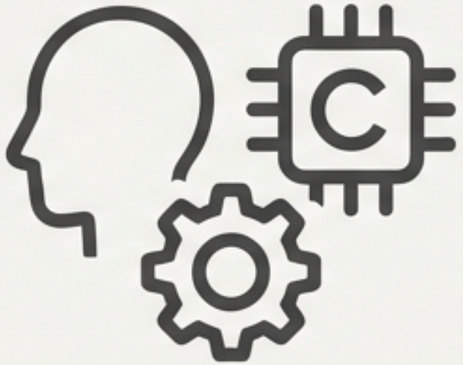
NotebookLM

Executive Summary: 本資料のサマリ



課題（The Challenge）

少人数ベンチャー特有の「リソース不足」と「未経験領域への挑戦」が常態化。



解決策（The Solution）

Anthropic社のAIエージェント「Claude Code」をタスク分解・設計・壁打ちを担う「内部コンサル」として活用。



成果（The Result）

PM業務の工数を**推定40〜50%削減**。未経験領域でも高品質なプロジェクト推進が可能に。

NotebookLM

課題認識①：ベンチャー特有の「人手不足」という構造



- bloom株式会社は、AIX、人材、不動産の3事業を展開する成長フェーズのベンチャー。
- AIX事業部では、少人数で社内外のAI活用支援、メディア運営、システム開発など多岐にわたる業務を遂行。
- 1人が複数プロジェクトを兼務し、企画から実装まで一貫して担当することが常態化していた。

NotebookLM

課題認識②：「やったことがないこと」をやる日常



進め方が不明

過去の知見や専門家が社内に不在。



抜け漏れ発生

タスクの網羅性に自信が持てない。



意思決定の遅延

判断に迷い、プロジェクトが停滞。

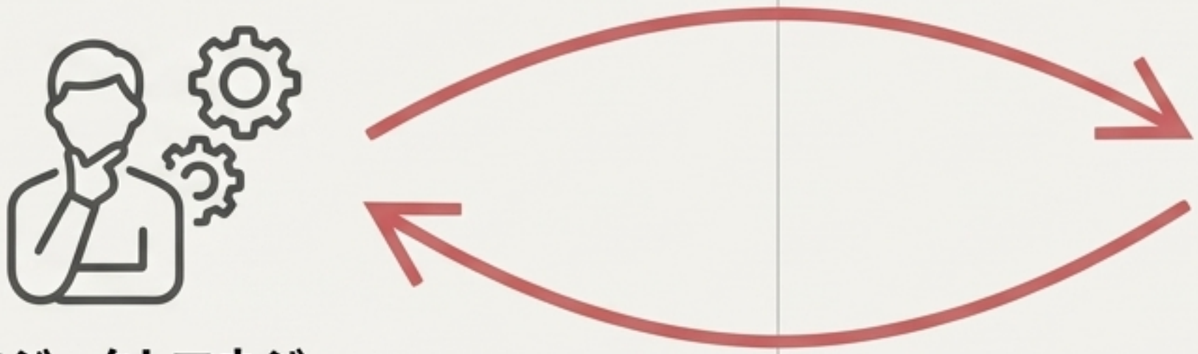


外部依存の限界

コストとスピード感の問題で、外部コンサルへの依存は非現実的。

NotebookLM

解決策：AIを「ツール」ではなく「内部コンサルタント」として活用



プロジェクトマネジャー

AI コンサルタント

Tool: Anthropic Claude Code

圧倒的な文脈理解能力

プロジェクトの背景・制約を`CLAUDE.md`ファイルで一度インプットすれば、常に文脈を踏まえた提案が可能。

高い推論能力

単なる情報整理に留まらず、実践的な示唆や代替案を提示。

NotebookLM

活用事例：技術領域からビジネス領域まで



経営管理（IPO準備）

- セキュリティポリシー策定
- 規程類の洗い出し
- 技術対策の検討



マーケティング戦略

- 市場・競合分析
- KPI設計
- 実行計画の策定



システム開発

- 要件定義
- 設計・タスク管理
- 品質チェック

NotebookLM

プロジェクトマネジメントにおける具体的な支援フロー

1 タスク分解（Task Decomposition）

ゴールをインプットし、必要なタスクを網羅的に洗い出し。見落としていた観点を指摘。

→

2 調査・情報整理（Research & Synthesis）

市場調査、競合分析、理論フレームワークの提示などをAIが担当。人間は「叩き台」を元に議論。

→

3 壁打ち・方針決定（Sparring & Decision Support）

論点を客観的に整理し、メリット・デメリットを提示。人間の高品質・高速な意思決定を支援。

NotebookLM

成功の鍵①：AIに「会社の文脈」を理解させる仕組み

「優秀だが、自社のことを知らない外部コンサル」を「頼れる内部コンサル」に育てる。



① ベースナレッジ（Static Knowledge）

会社概要、事業内容、組織構造、社内用語などを文書化。

② 議事録（Dynamic Knowledge）

過去の議論の経緯や決定事項をインプット。

③ データフォーマット（Accessible Knowledge）

資料をAIが読みやすいMarkdown形式に統一。

NotebookLM

成功の鍵②：人間とAIの最適な協働体制

AIの提案は鵜呑みにしない。

AIの役割 (AI’s Role)

- 客観的な論点整理
- 網羅的な選択肢の提示
- 高速な情報収集

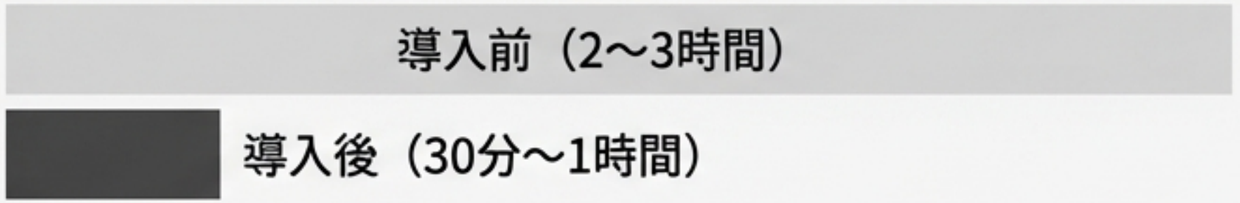
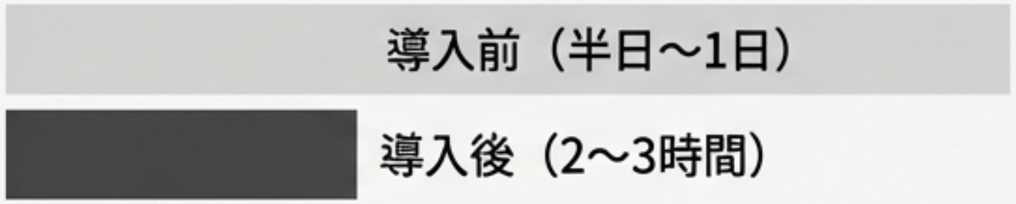
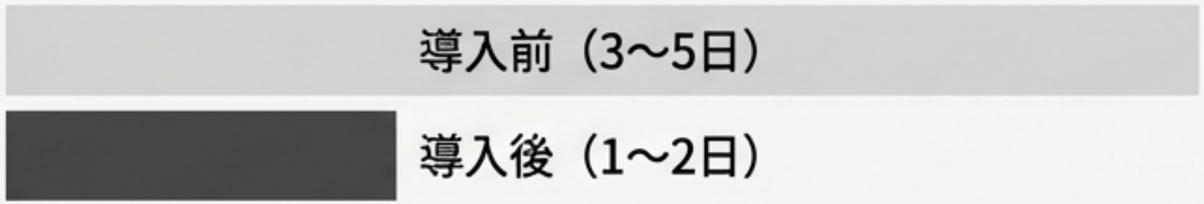
人間の役割 (Human’s Role)

- 組織事情・暗黙知の加味
- 最終的な意思決定
- 実行責任

NotebookLM

定量成果：PM業務の工数を40〜50%削減

PM業務全体として、推定で40〜50%の工数削減効果を達成。

指標	導入前 vs 導入後	改善率
タスク整理		約60%削減
設計検討		約50%削減
方針決定		約50%短縮

NotebookLM

定性成果：数字以上の価値



心理的な安心感

「未経験領域でも『見落としがない』という自信を持って進められるようになった。」



属人化の軽減

「AIとのやり取りでナレッジが言語化され、他メンバーへの共有が容易になった。」



学習効果

「AIの提案を通じて、PMとしての観点や設計の勘所を学べる。」

NotebookLM

成功のポイント（3つの要点）

1

Position AI as a "Teammate," not a "Tool."

AIを「チームメンバー」として扱い、継続的な文脈共有を徹底。

2

Invest in a High-Context Environment.

AIが参照できるナレッジベースや議事録の整備が、後の効率を最大化する。

3

Retain Human Judgment.

AIは優秀な壁打ち相手。最終判断は、組織の暗黙知を理解する人間が行う。

NotebookLM

今後の展望



深化（Deepen）

- ナレッジ整備のテンプレート化
- 組織標準としてAI活用体制を構築



横展開（Expand）

- AIX事業部のノウハウを他事業部（人材・不動産）へ展開
- 全社的な生産性向上を目指す

NotebookLM

少人数でも、大きな成果を。

AI "内部コンサルタント"は、同じ課題を抱える
すべての成長企業にとって、有効な選択肢となり得る。

ご清聴ありがとうございました。

NotebookLM